

■ 令和4年度 「公共建築の日」及び「公共建築月間」イベント一覧

地区名	開催日	実施名称	実施概要	会場等	参加人数	参加者のコメント等
中央	11/11～ 11/22	●公共建築パネル展	「公共建築の日」ポスター及び「官庁施設における木材利用促進への取組について」のパネル展示。	中央合同庁舎第3号館1階玄関ホール（国会側）	-	-
	11/11 ZoomによるLIVE配信	●研究発表会 「木造工事積算手法（数量積算基準及び内訳標準書式）の調査研究」 「国土交通省発注工事の入札結果に関する分析」 「関東圏の建築工事競争入札の二十余年—入札結果データの分析から—」	左の研究について、担当者がZOOMにより研究により得られた結果等について発信。	ホームページ上での応募者への発信を予定	瞬間最高視聴者数160名	アンケートを実施したところ、「とても参考になった」等の高評価が過半数であった。
	11/16 同時LIVE配信 11/28, 29 VOD配信	●保全技術研究会・記念講演会 【保全技術研究会】 研究発表「公共建築マネジメントの状況調査報告」 ○パネルディスカッション「戦略的な公共建築マネジメントの取り組み—その可能性を広げる方策—」 事例発表 ①富山市の事例「中心市街地における統合小学校跡地などの活用について」 ②常総市の事例「随意契約保証型の民間提案制度について」 【記念講演会】 ○「サステナブルな建築と環境」	【保全技術研究会】地方公共団体の公共施設等総合管理計画の見直しは令和3年度に一段落しました。しかし少子高齢化、人口減少、厳しい財政事情に加え、新型コロナウイルスや頻発する災害への対応等の公共建築マネジメントに影響を及ぼす新たな要因が加わりつつあり、その目指す方向が不透明になっています。このような状況で、民間と連携してその活力を生かす事例が増えてきています。今回はそのような事例を紹介しながら、公共建築マネジメントの可能性を広げる方策。 【記念講演会】様々な分野で脱炭素がうたわれるとともに、人口が減少し縮減していく社会状況となっています。はたして、次代へとつないでいくことのできる、サステナブル—すなわち持続可能な建築とはどのようなものなのでしょうか。サステナブルであるためには、従来のような省エネ・創エネへの取り組みだけでなく、製造や建設段階での配慮や工夫、さらにエンドユーザーの環境行動に結びつく快適性・健康性など、これまでに以上に広範な視点が求められます。サステナビリティというキーワードから、これからの建築のあり方。	建築会館ホール（東京都港区芝）	会場参加者42名 Live参加者55名 VOD参加者41名	【保全技術研究会】 ＜富山市事例＞ ・小学校統廃合の都市計画を官民一体で非常に上手く計画されたと感じた。 ・統廃合校跡地の活用について民間に土地化して、新たな街の価値を民間で作っている事例が参考になりました。 ＜常総市事例＞ ・民間提案制度で知的財産を保証したり、市から民間に直営業したりして、民間が投資したい、参加したいと思わせる手法が勉強になりました。 【記念講演会】 ・建設時のCO2排出についてあまり今まで意識していなかったが、今回の講演を機に見直そうと感じました。また高齢化していく街での建て替え工事で、コミュニティが破壊されるのではないかと感じました。 ・SDGsの本質とLCCMの関連性が詳しく知ることができました。公共FMと環境のつながりの方向性が示され、参考となりました。 【WEB配信についてのご意見】 ・全国どこからでも参加できるため、大変ありがたいと思います。
北海道	7/1～ 10/2	●「公共建築の日」2022フォトコンテスト	募集テーマ：「公共建築と風景、街並み」 ・北海道内の公共建築を題材に風景や街並みなど様々なアングルから切り取った魅力ある写真を募集 【主催】「公共建築の日」及び「公共建築月間」北海道地方実行委員会 【後援】北海道開発局、北海道、札幌市、江別市、石狩市、業界団体等	ホームページ上での応募のみ	デジカメ部門：73件 携帯・スマホ部門：60件	・幅広い年代から、道内はもとより道外からの参加がありました。 ・応募作品のどれもが力作でそれぞれの表現に特徴があり、優秀つけがたい作品ばかりでした。
東北	10/31～ 12/2	●巡回建築パネル展 ～公共建築関連事業の紹介～	公共建築に関わる各機関の取組を紹介するパネルを東北6県の各会場で展示。	仙台市青葉通地下道ギャラリー、他7会場 (2022/12/5～2023/1/31、PBAのHPにてWEB展示実施)	-	-
関東	11/1～11//30	●公共建築パネル展	関東地方整備局の「営繕部事業年報」、「主要事業」の紹介パネル展示の他、「官庁施設における木材利用促進への取組」のパネルを展示。また、過去の「小学生絵画展」の入選作品などをポストサイズで展示。	さいたま新都心合同庁舎2号館	-	-
	11/7～11/11	●公共建築パネル展	「官庁施設における木材利用促進への取組」を主題としたパネル展示、並びに多摩産材の実物展示を行い、立川市と共同で公共施設における木材活用の取組を紹介。その他庁舎模様の展示やペーパークラフトのポップアップカードの配布を行った。	立川市役所1階	ポップアップカードを40～60枚ほど配布。 60名程度の来場者と想定	・パネル展示だけではなく、多摩産材や庁舎建築で使用した木材サンプルを展示し、本物にふれあえることができたことにより、来場者の理解が深まった様子。 ・会場は国と市の仕切りを無くし、一体感を出すことで共同開催の効果を高めることができた。
	11/1～11/30	●公共建築パネル展	令和3年度に完成した栃木県内の主要な公共建築物及び栃木県内建築系学生、生徒の作品を栃木県庁ホームページ上において展示。	ホームページ上で展示	-	-
	11/7～11/18	●公共建築パネル展	「公共建築の日」、「官庁施設における木材利用促進への取組について」及び「千葉県内を中心とした公共建築の事業紹介」等のパネルを展示。	千葉県庁（1F連絡通路）	-	-

■ 令和4年度 「公共建築の日」及び「公共建築月間」イベント一覧

地区名	開催日	実施名称	実施概要	会場等	参加人数	参加者のコメント等	
関東	11/12	横浜市公共建築100周年事業『よこはま建築ひらば』 ●こどもワークショップ ●シンポジウム ●公共建築を巡るデジタルスタンプラリー ●公共建築工事現場見学会 ●こどもの絵画作品上映 ●建築・ガス・電気設備展示	●こどもワークショップ 子どもたちが建築に親しめるような6種類の体験型ワークショップを開催。 ●シンポジウム 建築のプロフェッショナルたちと、これまでとこれからの公共建築を考えるシンポジウムを開催。 ●デジタルスタンプラリー 公共建築を巡る、スマートフォンを使った非接触のスタンプラリーを開催(対象施設において公共建築パネル展も開催)。 ●工事現場見学会 工事中の横浜市開港記念会館において現場見学会を開催。	横浜市役所ほか	-	・イベント全体の延べ参加者数3,495名 (うちデジタルスタンプラリー参加者数:639名)	・(子どもたちに)建物に興味を持ってもらう良い機会となった。 ・日頃体験できないことができ、貴重な豊かな時間でした。
	10月 ～ 11月	●公共建築パネル展	『信州の公共建築』と題し、「公共建築の日」ポスター及び「長野県内の公共建築の取組について」のパネル展示。	①松本合同庁舎 11/24～11/30 ②長野市役所 11/28～12/1 ③飯田市役所 11/29～12/1	-	-	-
	11/16	●公共建築フォーラム(仮)	脱炭素社会を目指した環境負荷低減の取り組み、地域産材利用、働き方改革を含めたDX化の促進等、様々な社会的要請を踏まえた取り組み事例の紹介。 (Zoomによる配信)	長野県庁	-	web配信のため、参加人数の把握は不可	-
	11/1～11/11	●公共建築工事のパネル展	公共工事を紹介するパネルを埼玉県庁内に展示する	埼玉県庁	-	-	-
北陸	11/8～ 11/13	●公共建築パネル展(新潟)	・国、地方公共団体の完成施設の紹介、防災及び木材利活用取組等のパネル展示 ・「公共建築の日」ポスター及び「官庁施設における木材利活用促進への取組について」のパネル展示 ・公共建築賞作品のパネル展示	新潟市民芸術文化会館(りゅうとびあ)、 朱鷺メッセ(ホテル日航新潟31階 Befcolばかうけ展望室)	-	-	-
	11/28～ 11/30	●公共建築パネル展(富山)	・国、地方公共団体の完成施設の紹介、防災及び木材利活用取組等のパネル展示 ・「公共建築の日」ポスター及び「官庁施設における木材利活用促進への取組について」のパネル展示 ・公共建築賞作品のパネル展示	高岡市役所(1階ロビー)	-	-	-
	11/21～ 11/23	●公共建築パネル展(石川)	・国、地方公共団体の完成施設の紹介、防災及び木材利活用取組等のパネル展示 ・「公共建築の日」ポスター及び「官庁施設における木材利活用促進への取組について」のパネル展示 ・公共建築賞作品のパネル展示	金沢港クルーズターミナル(待合エリア)	-	-	-
	2/3	●学生を対象とした現場見学会	・現場見学 ・質疑応答	県央基幹病院建設工事現場	学生:37名 教員:2名	-	・現場でしか味わうことのできない雰囲気を感じとても勉強になった。 ・現場を働いている人から話を聞けて、良い体験ができた。 ・工事現場を目にしたときの迫力が凄かった。
	11/12	●金沢城復元「匠の技」セミナー	・金沢城復元工事を実際に行った職人さん達が、復元工事における伝統的建造技術を一般市民の皆様にわかりやすく紹介。	石川県金沢公園内・五十間長屋	19名	-	-
	9/27 10/24	●現場見学会	・現場見学 ・質疑応答	富山県警察機動センター新築工事外	9/27:37名 10/24:38名	-	-
中部	11/1～ 12/20	●公共建築Web展示館Ⅲ ～公共建築技術者等の取組み～	中部地区内の公共建築に携わる技術者等が実施した社会的要請に応えるための取り組みや仕事の事例をWebを利用した展示形式で紹介した。	Web開催	-	-	-
	11/11	●「公共建築の日」記念講演会 ・「脱炭素社会の実現に向けた取組やZEB化の推進等(仮)」 講師:田辺新一氏(早稲田大学教授、日本建築学会会長)	田辺新一早稲田大学教授(日本建築学会会長)による「カーボンニュートラルにおける建築の役割とZEBの推進」と題した講演で、住宅・建築分野の取組が重要で、公共建築は範とならなければならないと説明があった。 また、静岡県内民間企業による省エネ・創エネに係る先進的な取組事例を紹介した。	web講演(YouTubeでLive配信)	127名	-	・ちょうど社内で話題になっていたテーマだった。 ・そもそも何故ZEBが必要なのかが聞けて良かった。 ・世界的な視点での情報提供が参考になった。

■ 令和4年度 「公共建築の日」及び「公共建築月間」イベント一覧

地区名	開催日	実施名称	実施概要	会場等	参加人数	参加者のコメント等
近畿	11/1~11/30	●地球環境にやさしい公共建築Webギャラリー	近畿地区における最近の公共建築事業（16施設）について、写真やパネルにより、ZEB等の環境配慮の取り組みをWEB上で紹介	Web開催	アクセス数451	-
	11/4	●施設見学会		堺防災総合センター	28名	良かった点 ・防災体験学習のほか、普段みることが出来ない訓練施設まで見れたことを評価するコメントが多かった。 良くなかった点 ・意見なし 今後のイベントへの要望等 ・防災訓練などの施設使用状況の見学
	11/11	●施設見学会		一乗谷朝倉氏遺跡博物館	26名	良かった点 ・説明が分かり易かったこと、展示内容が良かったとのコメントが多かった。 良くなかった点 ・会場のアクセスに関するコメントが多かった。 今後のイベントの要望等 ・木造建物、環境配慮建物（ZEB）、DXに関するイベント
	12/1	●施設見学会		兵庫県立兵庫津ミュージアム	43名	良かった点 ・防火地域の木造建築の工夫、説明が分かり易かった事と最新の展示内容（VR）を評価するコメントが多かった。 良くなかった点 ・見学時間の設定が短かったことが多く指摘された。 今後のイベントへの要望等 ・新しくできた施設や、リフォームによって活用された施設の紹介
中国	11/12	●見学ツアー OPEN HOUSE TOTTORI×鳥取県立博物館	鳥取県立博物館開館50周年に合わせ、施設見学を行った。	鳥取県立博物館	大人21名 子供11名	・施設の新旧問わず、定期的に開催してほしい、公共建築の歴史、流れを県内外との比較等も面白いかも。 ・今回初めて知ったので、今まで参加できずに残念に思います。また参加したい。 ・とても面白かった。県の建物や財産である収容物を守ってくださるのがとても伝わりました。
	11/5	●見学ツアー どこが変わった？県立美術館 ー建築ガイドツアー＋ギャラリートークー	〈県立美術館施設概要説明〉 美術館専門学芸員による施設概要説明（設計者の紹介や展示品の説明等）を行った。 〈建築ガイドツアー〉 美術館特定天井改修工事監督職員のガイドにより美術館のツアーを行った。工事の内容だけでなく、バックヤードや外部空間についても解説した。 〈ギャラリートーク〉 展示室の一室にて、美術館専門学芸員によるギャラリートーク（展示品や展示室について解説）を行った。	鳥根県立美術館	30名	※参加者アンケートをしていないためコメントなし 〈工夫した点〉 SNSを用いて一般の方に広く周知を行った。 イベント記念品として鳥根県庁周辺の公共建築マップが描かれたハンドタオルを製作・配布し、公共建築に関心に向けてもらえるよう工夫した。
	10/29~10/30	●公共建築パネル展 建築フェス2022	一般社団法人岡山県建築士会が、創立70周年を迎えるにあたって開催するイベント「建築フェス2022」と共催し、岡山県内の近現代建築について、写真や紹介文を記載したパネルの展示や、岡山市及び倉敷市の中心部に点在する建築物を紹介するパンフレットを配布することで、建物の魅力を発信し、来場する一般県民に向けてPRする。	イオンモール岡山5階 おかやま未来ホール	400名程度	【課題】 ・家族連れ・子どもの来場も多かったが、模型展示や体験型のブースの方が人気だったので、模型など興味を引く展示が必要だと感じた。
	12/26~12/27	●公共建築パネル展	岡山市における公共建築物の最新事例を紹介するパネルを展示。	岡山市役所1階市民ホール	100人程度	参加者のコメントは特になし。
	11/4~11/6	●公共建築一斉公開イベント 「ひろしまたてものがたりフェスタ2022」	広島市及び呉内の建築物を対象として、公共建築協会、国（中国地方整備局）、広島市、広島県、建築関係団体、大学及び市民団体と連携し、魅力ある建築物の一斉公開イベント（ガイドツアー等）を実施した。	国立広島原爆死没者追悼平和祈念館、広島県立美術館、広島サッカースタジアムほか広島県内施設	全体で1,247名 (内、広島県主催分166名)	(良かった点) ・アンケートの結果、解説の時間が丁度良く、わかり易いとの回答が多かった。 (良くなかった点) ・解説内容をもっと詳しくして欲しいとの意見もあった。 (今後のイベントへの要望等) ・対象施設の拡充や定員数やツアー回数の増加を望む声もあった。
11/20	●クイズラリー 公共建築博士からの挑戦状！スタジアムの謎を解け！	小学生とその保護者を対象に、公共建築の役割や特徴を説明し、雑新みらいふスタジアムに隠された謎について、博士からのクイズにチャレンジしながら解いていき、公共建築への関心を深め、親しみをもってもらう内容とした。（新型コロナウイルス感染症対策のため、午前午後の2回にわけて実施）	雑新みらいふスタジアム	118名 (保護者56名、子供62名)	通常では入れないスタジアムの通信室や特別応接室に入ることができ、とても楽しかった。	

■ 令和4年度 「公共建築の日」及び「公共建築月間」イベント一覧

地区名	開催日	実施名称	実施概要	会場等	参加人数	参加者のコメント等
四国	10/17～10/28	●公共建築パネル展	瀬戸内国際芸術祭2022秋会期に合わせて、四国地方整備局の主催により四国地方整備局、香川県、高松市及び四国旅客鉄道の営繕事業のパネル等を展示し、広報した。	高松港旅客ターミナルビル2階待合室	—	—
	11/7～11/11	●公共建築パネル展	四国地方整備局及び香川県の共催により、近年竣工した四国管内及び香川県内の営繕事業や「官庁施設における木材利用促進への取組について」のパネル等を展示し、広報した。	香川県庁1階ギャラリー	—	—
	11/14～11/18	●公共建築パネル展	県及び市町の協力の元、ウェブ上にて作品展示を実施。	ホームページ上で展示	—	—
	11/17～11/24	●公共建築パネル展(高知県)	県有施設のパネル展示	オーテピア高知図書館	—	—
九州	11/1～11/11	●公共建築パネル展×D×	①3D空間再現ディスプレイ(SRD) ・国交省都市局で公開している北九州市の3次元データ(PLATEAU)や「名瀬第2合同庁舎」のBIMデータで作成した3D映像上映 ・コントローラー操作による3Dディスプレイ体験 ②デジタルサイネージ ・「鹿児島第3合同庁舎」でのBIM活用動画等を上映 ③デジタル3D模型展示 ・「名瀬第2合同庁舎」のBIMデータを3Dプリンターで出力した模型を展示 ④パネル・ポスター展示 ・未来を創るチャレンジ(若手作成ポスター) ・完成施設(長崎県・沖縄県・熊本市・営繕部) ・BIM(DX活用)説明(入省2年目職員作成) ・まちの木造化推進法 ・木造化、木質化事例紹介等	福岡第2地方合同庁舎(玄関ホール)	約120名	・今回のパネル展では整備局インフラDX推進室から機材提供・技術支援など全面協力いただき、公共建築分野においてインフラDXの普及促進や来庁者の方へのアピールを図るためBIMデータの活用映像や3D模型を使って展示を行えたことが良かったです。 ・昼休みの限られた時間の中ですが3D空間再現ディスプレイを使い来場者自らコントローラーを操作してもらい3D映像を自由に動かしながら体験視聴してもらいました。
	11/7～11/11	●公共建築パネル展	「官庁営繕部の取組み」、「公共建築/未来を創るチャレンジ(現場技術者の紹介)」及び「完成施設紹介」等に関するパネルを展示。	熊本地方合同庁舎A棟玄関ホール	—	—
	10/22～10/23	●2022かごしま住まいと建築展	「BIMと遠隔臨場の利用」、「工事中施設紹介(鹿児島第3合同庁舎と名瀬第2合同庁舎)」のパネルを展示。	鹿児島県民交流センター	約460名	—
沖縄	10/28～11/30	●公共建築パネル展	「公共建築の日」ポスター及び「沖縄復帰50周年記念」のパネル展示。 ・沖縄総合事務局の整備事例の紹介。 ・沖縄県及び那覇市の整備事例の紹介。 ・日本建築家協会の活動状況紹介。 ・沖縄県建築士事務所協会の活動状況紹介。 ・沖縄県設備設計事務所協会の建築設備概要説明。 ・講演会開催ポスター掲示。	サンエー那覇メインプレイス店(10.28～11.6)、沖縄県庁(11.7～11.11)、那覇市役所(11.16～11.22)、沖縄総合事務局(11.24～11.30)	—	●良かった点 ・沖縄復帰50周年記念として開催したこともあり各団体から多くのパネル提供があった。 ●良くなかった点 ・特になし。 ●今後のイベントへの要望等 ・各団体HPによるパネル展開催に関する内容の予告。
	11/28	●記念講演会	・沖縄県で活動されている建築家を講師とした記念講演会。 ・沖縄の近代建築のあゆみに関する事例の紹介。 ・リアルタイムによるWEB講演会。	WEB開催(11/28)18:30～20:00	56名	●良かった点 ・貴重な写真や話が多く勉強になった。 ・戦前、戦後の沖縄の建築の歴史の勉強になった。 ・一般に開かれた素晴らしいイベントだった。 ・大変興味深い内容であった。今後の活動に役立つと思う。 ・今までの公共建築の講演と違い、沖縄建築の歴史の視点でとても興味深かった。 ●良くなかった点 ・特になし。 ●今後のイベントへの要望等 ・講演で使用した資料の公表
	11/14	●第14回フォトコンテスト～島の魅力～ ・「みんなの公共建築賞」2点を選定 ・表彰式及び作品展示	沖縄の建設業で働く人々や、建設業が造り出す構造物を撮影した写真を募集。 【主催】沖縄県建設業協会【後援】沖縄総合事務局、沖縄労働局、沖縄県、沖縄県市長会、沖縄県町村会、NHK沖縄放送局	沖縄県庁(表彰式:11/14)(展示:11/14～11/18)	185作品	—